

五つの宝



泉八小だより 第16号

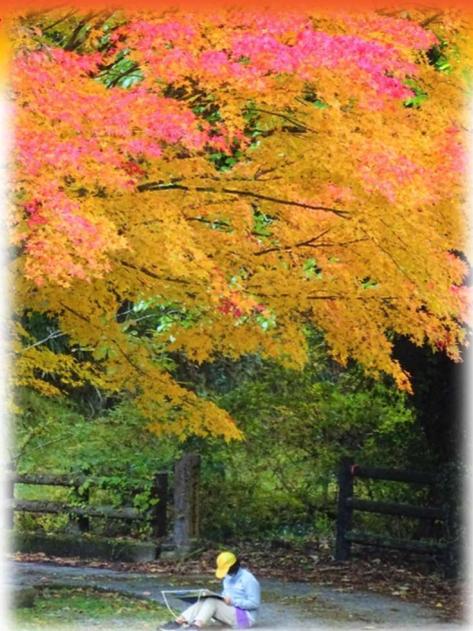
令和3年11月2日

校長 井上 雅晴

縦木の里の綾錦 写生大会!

奥山里の秋はかけ足でやってきます。ここ数日で山や谷がいきなり紅黄色に染まりました。縦木の里は綾錦です!

そんな絶好のシーズンに今年も写生大会を行いました。場所は5・6年生が「五家荘溪流キャンプ場」、2・3年生が「五家荘平家の里」を選びました。どちらも紅葉が鮮やかで、どこを切り取っても、まさしく絵になりそうです。



夏綺さんは、出発前から能舞台を描くと決めていました。



麟さんは古民家の脇で描き始めたのですが、一人がさみしくて仕方ありません。ちょくちょく担任の先生のとこに絵を見せに行っていました!



美菜さんの頭上には、鮮やかな紅葉が…まるで絵の中にいるみたい!



釣り好きの亮太さんは、溪流のヤマメの姿に時折折氣をとられながら、橋の上から描きます。



瑠華さんは、橋のたもとからバンガローを描きます。白鳳がしっかり見守ってくれています。

ちょっぴり緊張!生活科体験学習

泉小学校との交流の一環として、1・2年生の生活科体験学習がありました。泉八小からは夏綺さんがひとりで参加しました。「鏡消防署泉分署」「千丁支所」「ひこいちテレビ」「泉郵便局」「八代警察署泉駐在所」など、どんな仕事をして、**くらしにどのように役立っているのか**などを学びました。最初はひとりでちょっぴり緊張していた夏綺さんでしたが、給食を一緒に食べ、一緒に遊んで、帰る頃にはとても名残惜しそうでした。



五家荘の思い出・杉林に感動!?

今から30年以上前、私がまだ若い頃の思い出です。マレーシアからの留学生に、日本の「紅葉」の美しさを見せてあげようと、今ぐらいの時期に五家荘に連れてきました。予想通り、彼は盛んに山の写真を撮っています。しかし、どうも「紅葉」を撮っているのではないことに気付きました。実はしきりに**杉の植林**を写していたのです。「どうして?」と尋ねると、「**こんなに木がきれいに並んでいるなんて…すごい!**」という返事が・・・彼は「紅葉」よりも整然と並ぶ杉の木立に感動していたのです。そして、「**山に木を植え、山をつくる日本人はすごい!しかも、あんなに険しい山の頂まで植えるなんて!!**」と日本人に感動してくれたのでした。

私の思惑は見事に外れてしまいましたが、**視点**が変わると面白いものだと感じました。

